

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム でんぐり発寒		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月16日		～ 令和 8年 3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月21日		～ 令和 8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 1人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手先を使った作業(封筒作りなど)に取組んでいる。	手指を使った微細運動から、徐々に作業に移行し指先の感覚を高める。	同じ作業を繰り返しおこない集中力を高めている。 今後は新たな作業にも取り組み、できる作業を増やしていけたらと思います。
2	運動に取り組み、健康を維持する。	天気の良い日はウォーキングに行き、生活習慣病の予防や心肺機能の改善、ストレスの発散ができるように取組んでいる。	室内で、できる運動の種類を増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングなどが十分に行なう事ができていない。	・ペアレントトレーニングや保護者を対象とした研修を実施する時間の確保が難しい。	事業所内で行なう保護者を対象とした取り組みだけではなく、外部の研修などの情報提供を行なっていく。
2			
3			